

## グランフロント大阪で「MBTによる新産業創生・地域創生シンポジウム」を実施

- MBT コンソーシアムは奈良医大と共同して、平成30年3月1日（木）、グランフロント大阪北館で開催された南都銀行主催の“<ナント>元気企業マッチングフェア2018”会場で、ルーム7一室を借り切り「MBT(医学を基礎とするまちづくり)による新産業創生・地域創生シンポジウム」を実施いたしました。
- 今回のシンポジウムは、基調講演・パネルディスカッション・ポスター展示コーナ、MBT相談会、の4本建ての催しを行いました。
- 細井理事長による基調講演では、急速に発展するMBT活動を具体事例で紹介、またMBT活動環境づくりに国家戦略特区申請を行っていることも明らかにされました。
- パネルディスカッションでは、梅田研究教授がモデレータとなり、5人の部会リーダーがパネリストになって、MBT活動を進めていく上での課題共有や解決策を意見交換されました。約70人参加の会場からもMBT活動への期待が提案され予定された100分間が瞬く間に過ぎ去ってしまいました。
- ポスター展示コーナでは、(一社)MBTコンソーシアム・奈良医大MBT研究所・会員10社、の計12展示ブースで、それぞれの活動内容や保有技術のポスター/映像紹介やデバイス/システムの現物展示が行われ、説明員と訪問者との技術論議や連携の可能性論議で盛り上がりました。



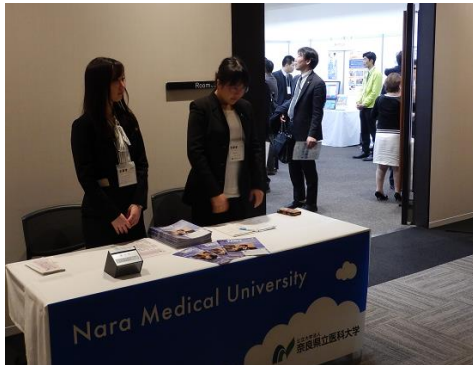
←↑細井理事長による基調講演



←↑梅田研究教授がモデレータの  
パネルディスカッション



↑会場から今後のMBT活動の進め方  
について提案も



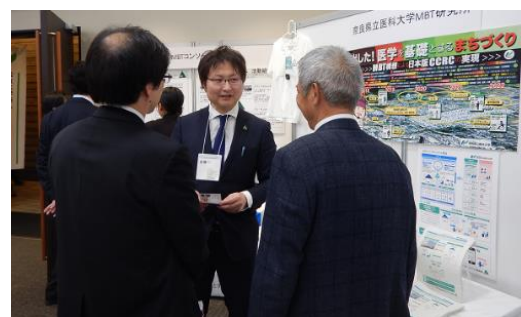
↑→受付と展示会場風景



↑MBTコンソーシアム展示パネル



↑奈良医大MBT研究所展示パネル



↑展示会場風景